

— 新着図書案内 —  
**読書計画**

令和3年9月1日  
日田高等学校図書館発行

『スター』 朝井リョウ//著

新人の登竜門となる映画祭でグランプリを受賞した立原尚吾と大土井紘。ふたりは大学卒業後、名監督への弟子入りとYouTubeでの発信という真逆の道を選ぶ。作家生活10周年記念の長編小説、白版。黒版『正欲』と読み比べてほしい。



(朝日新聞出版)

『きのうのオレンジ』 藤岡陽子//著

33歳の遼賀が受けた胃癌宣告。恐怖で震えが止まらない。郷里の弟から届いた荷物に入っていたのは、15歳の頃、弟と山で遭難した時に履いていたオレンジ色の登山靴だった。がん宣告を受けた「彼」と、彼を支える「家族」の物語。



(集英社)

『琥珀の夏』 辻村深月//著

かつてカルトと批判された「ミライの学校」跡地から発見された子どもの白骨死体。弁護士の子は、自分の知る少女のものではないかと胸騒ぎをおぼえる。幼い友情と記憶、忘却、罪をめぐる圧巻の物語。



(文藝春秋)

『ヨンケイ！！』 天沢夏月//著

慢性的な人数不足に悩む離島・大島の渚台高校陸上部に、奇跡的に男子4人のスプリンターが揃った。インターハイ予選を目前に控え、100×4リレー（四継）に挑むことになるが、メンバーの人間関係はサイアクで…。青春スポーツ小説。



(ポプラ社)

『人気プロガーからあげ先生の  
とにかく楽しいAI自作教室』  
からあげ//著

人気プロガー・からあげ氏によるAIの入門書。「じゃんけん画像を自動認識する」「実在しない人の顔画像を生成する」「ルンバをAIで制御する」といったAIの作例を通じて、楽しく先端技術を学ぶスキルが身に付く。



(日経BP)

『ヤングケアラーわたしの語り  
子どもや若者が経験した家族のケア・介護』  
澁谷智子//編

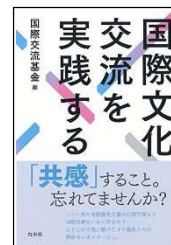
ヤングケアラーとは、ケアが必要な家族の世話をしている18歳未満の子どものこと。多様にあるケアの経験を、当事者だった7人が書き下ろした、それぞれの「わたしのストーリー」。



(生活書院)

『国際文化交流を实践する』 国際交流基金//編

コロナ禍や自国優先主義の台頭で揺らぐ国際協調をいかに守るか？心と心の交流に懸けた国際交流基金職員たちのルポルタージュ。国際文化交流とは何か、世界各地で文化と交流がいかに結び付けられているか、といった問題を一人ひとりの等身大の視点から描く。



(白水社)

『値段がわかれば社会がわかる はじめての経済学』  
徳田賢二//著

私たちの社会生活において「経済」の占める場所は大きい。そのしくみはどのようなものか。読み解くためのカギは「値段」にある。具体的な生活場面に即しながら、経済学の初歩をやさしく解説する。



(筑摩書房)

『檻を壊すライオン 時事問題で学ぶ憲法』  
椋大樹//著 (かもがわ出版)

『超えてみようよ！境界線 アフリカ・アジア、そして車イスで考えた援助すること・されること』  
村山哲也//著 (かもがわ出版)

『不調を食生活で見直すためのからだ大全』  
NHK出版//編 (NHK出版)

『水の科学 水の自然誌と生命、環境、未来』  
清田佳美//著 (オーム社)

『中高生からの防犯 活かそうコミュカ！』  
武田信彦//著 (ペリかん社)

『高校生からはじめるプログラミング』  
吉村総一郎//著 (KADOKAWA)

『独学プログラマー Python言語の基本から仕事のやり方まで』  
コーリー・アルソフ//著 (日経BP社)

『IT用語図鑑』 増井敏克//著 (翔泳社)

『零から〇へ』 まはら三桃//著 (ポプラ社)

『新謎解きはディナーのあとで』  
東川篤哉//著 (小学館)

『正欲』 朝井リョウ//著 (新潮社)

『いのちの停車場』 南杏子//著 (幻冬舎)

『死にたがりの君に贈る物語』 綾崎隼//著 (ポプラ社)

『言いかえ図鑑』 大野萌子//著 (サンマーク出版)

『彼女が花に還るまで』 石野晶//著 (双葉社)

『木洩れ日に泳ぐ魚』 恩田陸//著 (文藝春秋)

『だから僕は君をさらう』 斎藤千輪//著 (双葉社)

『いたいのいたいの、とんでゆけ』  
三秋縊//著 (KADOKAWA)



## クラス別 図書貸出統計（4～7月）



下の表は、4月～7月の各クラスの図書貸出冊数と、図書館で本を借りた人数です。全校では、貸出冊数が790冊、本を借りた人数が159人です。全校生徒の72%が今年度1冊も図書館の本を借りていないということになります。冊数、人数ともに、昨年と同じ時期に比べて大変少ないです。（昨年のこの時期は貸出冊数1111冊、本を借りた人数290人でした。）昼休み、放課後に図書館を利用する人数も少なく感じています。返却本のアルコール消毒など、感染症対策もおこない、みなさんの利用をお待ちしています。2学期も行事が多く慌ただしいと思いますが、ぜひ図書館を訪れる時間も作ってくださいね。

### 〈3年生〉

### 〈1年生〉

	貸出冊数	借りた人数
1年1組	41	12
1年2組	47	11
1年3組	15	4
1年4組	68	12
1年5組	108	9
計	279	48

### 〈2年生〉

	貸出冊数	借りた人数
2年1組	64	16
2年2組	178	19
2年3組	46	13
2年4組	56	15
2年5組	34	12
計	378	75

	貸出冊数	借りた人数
3年1組	39	3
3年2組	15	5
3年3組	29	8
3年4組	17	5
3年5組	29	11
3年6組	4	4
計	133	36

## 進路関連図書・新刊

### 『ゼロから1カ月で受かる大学入試面接のルールブック』

神崎史彦//著 (KADOKAWA)

### 『大学学部調べ 経済学部』 山下久猛//著 (ペリかん社)

### 『大学学部調べ 国際学部』 三井綾子//著 (ペリかん社)

### 『会社で働く 製品開発ストーリーから職種を学ぶ!』 松井大助//著 (ペリかん社)

### 『アプリケーションエンジニアになるには』 小杉真紀//ほか著 (ペリかん社)

### 『環境専門家になるには』 小熊みどり//著 (ペリかん社)

### 『大学学部調べ 国際学部』 三井綾子//著 (ペリかん社)

### 《暮らしを支える仕事見る知るシリーズ》 (保育社)

### 『警察官の一日』『消防官の一日』『弁護士・検察官・裁判官の一日』

### 『建築士の一日』『パイロットの一日』『プログラマーの一日』



## 岩波ブックレット・新刊



### 『気候崩壊 次世代とともに考える』 宇佐美誠//著

世界でいま何が起きている? 本当の原因は? 世代や国を越えたルールとは? 若者とともに気候変動のいまを学び、私たちの倫理まで踏み込んで議論する。渋谷教育学園渋谷中学高等学校での特別講義をもとに、中高生の意見も多数収録。

### 『有機農業で変わる食と暮らし ヨーロッパの現場から』

香坂玲//著, 石井圭一//著

欧州において有機農産物はいまや「日常」的なものとなり、「食」や「環境」への意識も変化した。ドイツ、オーストリア、フランスの現場と、それを支える公共の役割を考察し、欧州での地殻変動の原動力を解明。日本における有機農業の将来像を提示する。

### 『第四次産業革命と教育の未来 ポストコロナ時代のICT教育』 佐藤学//著

30年におよぶ経済停滞に加え、コロナ禍のダメージを受けた日本では、「未来の教室」事業に急速に期待がかかるが、その成否は? また、教育の役割が重みを増すなか、各国の政策対応は? 学校改革の第一人者が、豊富なデータとともに検証する。

### 『死刑廃止を考える』 菊田幸一//著

国際社会において、3分の2以上の国が死刑廃止・停止へと動いているなか、日本では、依然として死刑制度が存置されている。死刑制度の何が問題なのか、廃止に向けて必要な課題は何か。諸外国との比較など最新データをもりこみ、死刑廃止を訴える。

### 『狙われる18歳!? 消費者被害から身を守る18のQ&A』

日本弁護士連合会消費者問題対策委員会//著

明治時代からずっと20歳だった成年年齢が、2022年4月、18歳に引き下げられる。たった二年の引下げにより、若者たちに消費者被害が広まるおそれが指摘されている。リスクの説明と、未来を創る若い人たちへ向けたヒントを伝える。

### 『地域を変えるソーシャルワーカー』 朝比奈ミカ//編, 菊池馨実//編

子ども、高齢者、障がいのある人、そして生活に困窮する人たちを日々地域で支えている民間や役所などのソーシャルワーカー。コロナ禍の各地での実践、法的な裏付け、よりよい暮らしのための新たな試みを具体的に語る。

### 『買い物難民対策で田舎を残す』 村上稔//著

超高齢社会と過疎/都市の過密問題が凝縮した現象が「買い物難民」で、さまざまな対策が展開されている。巨大資本も参入するなか、地域の仕入れ先と高齢者との生の関係にこだわる移動スーパー事業の先駆者が、ピンチをチャンスに変える逆転の発想を開陳する。